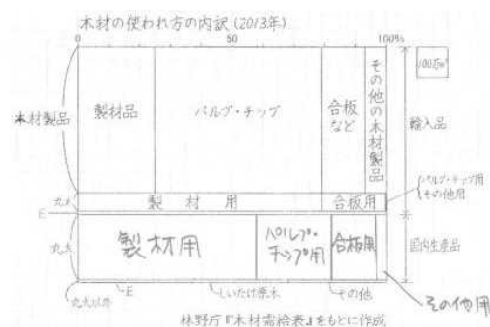


解 答

- I 問1 (1) 柱 (2) 水にさらしたり加熱したりしていた。
 問2 風通しを良くし湿気を防ぐ、高床倉庫に貯蔵し、柱にねずみ返しをつけた。
 問3 法隆寺
 問4 東大寺に大仏が建立された。
 問5 銀閣
 問6 (1) 安土 江戸
 (2) 琵琶湖や利根川の水運を利用している町である。そのためたくさんの木を使って舟がつくられた。
- 問7 長屋
 問8 レンガ
- II 問1 くわ すき
 問2 川越人足とよばれる人々の助けをかりて川を渡った。
 問3 東京と横浜
 問4 まくら木
 問5 水車
- III 問1 一本の木を半分に割り石器で中を削り取り舟にした。
 問2 北前船
 問3 木簡
 問4 かご
 問5 牛車
- IV 問1 糸をたてと横にくみ合わせて布にすること。
 問2 うるし
 問3 オ
- V イ
- VI 問1 (1) 木炭（炭） (2) ウ エ
 問2 (1) イ ウ
 (2) 右図



- VII 縄文時代以降日本は森林が豊かで森林資源を利用できるめぐまれた環境にあった。木は加工しやすく、丈夫であり腐りにくく長持ちする天然の素材である。こうした特色をもつため昔から住居や倉庫などの建物、水車や水道管など生活を支える道具の材料として使われてきた。また水より軽いという性質を生かし舟の材料となった。さらに漆などの木の樹液は漆器に用いられ、パルプは紙の原料となり、わたしたちの生活を支えている。